

科目番号	HA204				
科目名	保健休養学2				
担当教員	今井 通子 (医師、登山家)、上原 巖 (東京農業大学教授)、岩成麻子(森林大学校専任教員)ほか				
科目区分	森林環境		人材養成の方針	即戦力	リーダー 地域貢献
対象学年	2年		授業形態	講義・演習	
開講時期	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	単位数 2
授業時間数	15		コマ ( 30 単位時間 )		
実務経験のある教員による授業科目	-		左の実務経験の内容	-	
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無	○		左の実務経験の内容	森林セラピー、森林療法	
実務経験を活かした授業内容	日本での森林セラピーの実践者である今井通子氏からは森林セラピーの概要とエビデンスを学ぶ。また、森林療法の実践者である上原巖氏からは、森林療法の概要と演習を学ぶ。				

目的	多自然地域に居住し、地域貢献する人材として心身の健康に寄与する森林利活用法について必要な知識を修得する。	
概要	森林をフィールドとして実施する「森林セラピー」、「森林療法」、心身の健康について学ぶとともに、心身の健康に寄与する森林利活用法について森林整備方針を提案する。	
キーワード	森林セラピー、森林療法、森林環境教育	
関連する科目	保健休養学1、森林生態学、森林機能保全、野生鳥獣被害対策、森林林業概論、森林政策、森林計画、造林学、里山論、救急救命	
到達目標	森林林業の即戦力として活躍するための実践的な技能の習得	
	森林林業の次代のリーダーとなるための専門知識及び技術の習得	
	○	多自然地域の振興や課題解決に貢献するための幅広い知識及び技術の習得
評価方法	課題50%、演習20%、出席30%	

授業計画	テーマ	講義内容
1～2	ストレスと健康	(1)こころの病気について (2)森林療法と健康
3～4	森林セラピー	(1)森林セラピーの概要 (2)森林セラピーエビデンス
5～7	森林セラピー	森林セラピー体験(1年次とは異なるセラピーロードで実施)
8～11	森林療法	(1)森林療法の概要 (2)フィールド演習(景観施業等)
12～15	森林利活用プラン検討	森林調査及びリラクゼーションの森として森林の利活用プランを検討

テキスト	別途指示する
参考書	別途提示する
関連する資格	
備考	